



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

運命への挑戦

教頭 福久 高文

「今昔物語集」一「宇治拾遺物語」に次のような話が載っています。昔新羅に渡った商人が海辺で虎に襲われそうになる。舟に踊り入ろうとすると、危うく沖へ漕ぎ出して難を逃れる。虎は海に落ちしばらくして岸に上がるが、左の前足を食いちぎられ血を流している。どうやら虎に襲われたらしい。虎はその食いちぎられた左足を海に浸し、血を流して虎をおびき寄せた。そして岸に近寄ってきた虎の頭に右足の爪を立てて岸に投げ上げ噛み殺してしまう。」

異界は死を意味します。昔の人はそのことをよく知っていたのでしよう。だから境界を越えることの危険性をこの話で分かりやすく具体的に示したのでしょうか。海の中では虎が虎にとつて死そのものでしょう。虎は海という異界に落ちることで死に触れます。しかし彼は生還する。彼は、ひるむことなく異界の死を畏にかけます。そのとき彼自身が虎に対して運命として振る舞うことになりました。越境しなければ物語は始まりません。それは人生が始まらないと言っています。異界に越境することは死の危険性をはらんでいきます。しかし逃げ帰れば身を晒して主体的に戦いを挑む。それが生きるということとです。この後虎は運命(虎)を食い殺しそれを背負って、坂道を駆け下るような勢いで山を駆け上がっていきます。青春とは運命に挑戦する事です。今の自分に安住することなく違う自分になるうともがくことです。それは存在の危険を意味します。自分を壊して新しい自分を作り損なうかも知れないという恐怖を伴います。しかし今それをしなければ生まれきた意味はありません。君は自ら血を流し、運命と戦う雄々しき虎でなければなりません。今年度が終わろうとしている今、もう一度人生における自分の立ち位置を確認し、運命への挑戦を試みてほしいものです。

3月の行事予定

3月	
1	木 第58回卒業式
2	金
3	土 スタディサポート(1年)
4	日
5	月 学年朝会、入学学力検査場設営(7限カット)中掃除
6	火 入学学力検査
7	水 入学学力検査
8	木 中期日程試験(3/8~)
9	金
10	土
11	日
12	月 全校朝会、学校安全の日 後期日程試験(3/12~)
13	火 (4~7限の授業)
14	水 合格者発表(11:00~)7限カット
15	木 合格者集合(14:00~)
16	金 (3~6限の授業)
17	土 悠学講座
18	日
19	月 全校朝会 5分遅れ 水曜校時 中国高校生訪日団来校
20	火 中国高校生訪日団来校
21	水 春分の日
22	木
23	金 終業式 大掃除
24	土
25	日
26	月
27	火
28	水
29	木 離任式 合格体験を聞く会
30	金
31	土

主張すること・聞くこと

校内弁論大会を通して

二月十六日七限目、体育館にて校内弁論大会が行われた。弁士は一・二年生からそれぞれ三名ずつの計六名。クラス選考、学年選考を経ての弁論というだけあって、六名とも堂々とした弁論で、自らの主張を体験談をまじえながら皆に深く問いかけた。



最優秀賞は十三ルールの皇知之君の「届かぬ声」。進路のことで苦悩する友人の話から大人との対話の大切さを緊迫感ある語り口で聴衆に訴えた。優秀賞は二十五ルールの平野真太郎君の「創和」、十四ルールの飯伏歩未さんの「鶴丸鍋」が受賞した。

弁論大会を終え、生徒達からは「自分と同級生なのにこんなに大人の考えをしていることに驚いた。」「迫力があり、刺激を受けた。」「などの声が聞かれた。日頃自分が思索していることを、言葉にして人に訴えるということは、思っている以上に難しいことだろう。しかし、この弁論大会は鶴丸高校だからこそできる行事でもある。皆で真剣に同じ高校生の声に耳を傾け、そこから何かを感じ取るのが、視野を広げ新しい自己を発見する明日へつながる第一歩だ。

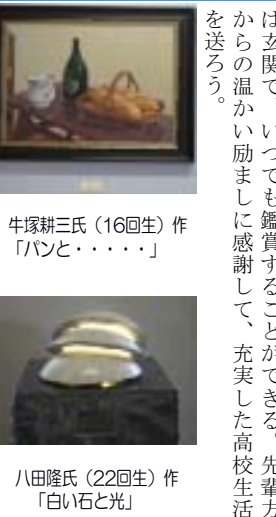
二月二日七限目、文化館で第一学年進路講演会が行われた。講師はベネッセコーポレーションの後大吉朗先生で今年度の大学入試情報や、一学年の現段階にふさわしい学習法などをアンケート資料や詳しいデータに基づいて丁寧にお話してくださいました。

三年生へエール!

二月二十四日を幕開きに国立公立大学二次入学試験が始まりました。今年の大学入試センター試験は例年からすると難化傾向にあり、全国平均は昨年を大きく下回った。二次試験でも激しい戦いとなることが予想されるが、本校の三年生のほとんどはセンター試験後も第一志望を変えることなく、関東方面に約100名、関西方面に約50名、福岡方面に約70名が、強気の姿勢で堂々と受験へと出発した。いよいよ卒業式がやってくる。桜の花が咲き始める頃、三年生のさわやかな笑顔が見られることを祈って、最後まで応援したい。

昨年、同窓生から本校に絵画と彫刻が寄贈された。絵画は牛塚耕三氏の作品を十六回生の皆さんが還暦同窓会記念に、彫刻は八田隆氏の作品を二十二回生が卒業三十五周年記念に、それぞれ寄付を募り本校に贈ってくださいました。絵画は悠学館横で、彫刻は玄閣で、いつでも鑑賞することができます。先輩方からの温かい励ましに感謝して、充実した高校生活を送ろう。

同窓生からのプレゼント
牛塚耕三氏 (16回生) 作 「バントと・・・」
八田隆氏 (22回生) 作 「白い石と光」



耐震工事のお知らせ



工事後の新装東側生徒館

耐震・大規模改修工事は渡り廊下の補修・塗装とシンデレラ階段塗装を最後に工事は終了しました。建築・電気・水道の各会社が実施する検査、関係機関の各検査を経て、完成検査に合格するのと、いよいよ学校に引き渡されることになりました。今回の改修工事では、①廊下、渡り廊下の照明が自動感知(センサー)になりました。②教室の廊下側窓、出入り口戸が木目調になり、強化ガラスになりました。③教室をはじめ、各講義室の蛍光灯の照度が上がり耐震壁の存在を感じさせない程度の明るさになりました。④トイレは照明、水道が自動感知になり、便座は洋式八割、和式二割になりました。

この工事期間、大きな事故もなく、順調に工事を進めた各工事に感謝したいと思います。また、工事前の教室移動から工事中の騒音等生徒・職員の皆さんには多大な迷惑をおかけしました。あらためてお礼申し上げます。平成十九年度は生徒館西側の耐震・大規模改修工事が始まります。生徒・職員の皆さんには再度迷惑をかけることとなりますが、新しい鶴丸生徒館の完成を期して頑張りましょう。今後の予定
三月一日午後
・建築完成検査
・電気、水道等設備
完成検査 三月五日
・学校引き渡し(予定)
三月十二日
なお、新教室等への移動は四月六日始業式を予定しています。



新化学講義室